

～ウゲ、キセルが飛び出した!!～ 試打りレポート:CR真・花の慶次2



グローバルアミューズメント株式会社
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。
2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した
存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、
コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。
現在、ホール&メーカーの双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。

皆様、こんにちは。グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹です。

本日は年末の大注目機「CR 真・花の慶次2」の試打りレポートをお伝えいたします。「出玉期待+遊べる」という現市況にマッチした真慶次だと評価しています。ぜひ参考にしてください。

■総合的に“良く考えられ、開発された機械” 色々な箇所でのイノベーションを感じる真・慶次だぜ!!

「CR真・花の慶次2」の注目ポイントは以下3点です。

- ① “裸眼3D液晶”で「えっ!?キセルが飛び出す!!」。
プレイヤーに「1回、アレを出してみたい・・・」と思わせる力が抜群!!
- ② 全ての大当たりで“電サポ100回迄は完全保障”。
確変突入時の即落ちもゼロで、「ドキドキワクワクをたっぷり楽しめる!!」
- ③ 突入78.1%×特図2 ALL 16Rで尖り感のあるスペック。
一撃期待が大きく、売上貢献が大きそう。

■「CR 真・花の慶次2 導入!! さあ、飛び出すキセルをご覧ください!!」 コレ、最高の告知だと思います。

最近、ホール幹部の方を中心に「オレ、最近、機械観ないんだよね、観てもわかんないし、..」という意見をよく聞きます。そんな、貴方へお伝えしたい。「さあ、CR真・花の慶次2を観に行きましょう。なぜなら、“裸眼3D液晶でキセルが画面から飛び出すから”とお伝えしたい。

コレって最高の売り文句だと思います。パチンコに興味を失っている貴方であっても慶次×キセル×3D映像の組み合わせで攻められると、かなり心を揺さぶられると思います。

プレイヤーも同様、どの定番機種も抱える共通課題、“マンネリ感”を先進技術で吹き飛ばすというのは、定番系機種の“進化の王道”だと考えます。ここまでの、先進技術＝粋&ギミック演出という“アイキャッチ重視”の方向性を大きく変え、興味喚起→「早くキセルでないかな～」という気持ちで客滞在をアップさせる点まで網羅した良く考えられた進化だと評価しています。

■“100回転目でタネあかし!!” 2000発獲得のドキドキ感を超満喫!! 変動タイプ時短を使った確変中演出が◎

現行規則ミドルの課題の1つが、継続率上限65%の弊害、“確変突入→即落ち”の発生頻度の高さです。本機は、変動タイプ時短を使って、

- 1) 100回転以内なら、確変を落ちてでも、変動タイプ時短に切り替わり、必ず100回転は到達。
- ↓
- 2) 100回転目の本陣演出の勝敗で継続or転落をタネあかし。
- ↓
- 3) 100回転目以降は、継続or転落のドキドキワクワクに一喜一憂

というゲームフローに設計されています。このゲーム性により、「やっと確変に入ったぜ、..」という満足感に浸れる時間を保障しながら、「100回転以内のテンパイは超アツイ」、更に、「100回転以降は超ドキドキ」というプレイヤーの気持ちを揺さぶる演出フローを実現し、“出玉以上の楽しさ感”を満喫できる機械になっています。プレイヤーは口では「出玉が目的で遊技している」といいますが、本質的には“出玉を得るためのストーリーを楽しみたい”という解釈が適切だと考えます。「CR 真・花の慶次2」はプレイヤー各々の“今日のストーリー”を満喫できる“良く考えられた機械”だと評価しています。ぜひ、本日の記事を機械選定の参考材料にしてください。本日も最後までお読み頂きありがとうございました。